



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社ダイヘン 上場取引所 東・福  
 コード番号 6622 URL https://www.daihen.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 哲也  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 小澤 茂夫 (TEL) 06-6390-5506  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	100,274	△2.2	4,544	△5.9	4,882	△5.8	3,443	△0.5
2019年3月期第3四半期	102,502	△0.3	4,827	△25.1	5,182	△25.2	3,461	△28.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,505百万円(216.2%) 2019年3月期第3四半期 1,108百万円(△83.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	138.81	—
2019年3月期第3四半期	138.24	—

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	159,676	83,974	49.2
2019年3月期	167,575	82,703	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 78,542百万円 2019年3月期 77,358百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	40.00	—
2020年3月期	—	45.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期中間配当金の内訳 記念配当 5円00銭 特別配当 一円一銭

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり配当金につきましては、第2四半期末は株式併合前の金額、期末は株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	△0.3	8,500	1.6	8,800	0.9	6,200	0.6	249.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(注) 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間より、重要性が増したPT. OTC DAIHEN INDONESIA及びDAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d. を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	27,103,291株	2019年3月期	27,103,291株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,296,427株	2019年3月期	2,299,661株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	24,805,946株	2019年3月期3Q	25,040,433株

※ 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のダイヘングループの業績は、足元では半導体関連投資が回復基調に転じておりますが、上半期までの停滞の影響が大きく、売上高は1,002億7千4百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面におきましても、売上高減少の影響により、営業利益は45億4千4百万円（前年同期比2億8千2百万円減）、経常利益は48億8千2百万円（前年同期比3億円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、34億4千3百万円（前年同期比1千8百万円減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

#### ① 電力機器事業

エネルギーマネジメント関連分野でのビジネス拡大や電力会社向け電圧調整機器の需要増加などにより、売上高は474億4百万円（前年同期比7.0%増）となり、営業利益は34億5百万円（前年同期比15億6千万円増）となりました。

#### ② 溶接メカトロ事業

欧米での自動車関連顧客への販売は堅調に推移いたしましたが、米中貿易摩擦による中国市場減速の影響は依然厳しい状況が続いていることから、売上高は318億9千万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は25億8千2百万円（前年同期比3億2千2百万円減）となりました。

#### ③ 半導体関連機器事業

半導体製造装置の投資に回復の兆しがみられ、受注高は232億7千3百万円（前年同期比9.3%増）となりましたが、上半期までの投資停滞局面の影響が大きく、売上高は208億4千3百万円（前年同期比17.6%減）となり、営業利益は19億9千8百万円（前年同期比10億6千2百万円減）となりました。

#### ④ その他

売上高は1億4千9百万円、営業利益は4千5百万円で、前年同期からの大きな変動はありません。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高		売上高		営業利益	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
電力機器事業	52,521	+2.8%	47,404	+7.0%	3,405	+84.6%
溶接メカトロ事業	32,655	△5.3%	31,890	△2.8%	2,582	△11.1%
半導体関連機器事業	23,273	+9.3%	20,843	△17.6%	1,998	△34.7%
その他	149	+0.3%	149	+0.3%	45	△25.1%
全社計	108,599	+1.5%	100,274	△2.2%	4,544	△5.9%

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金の減少などにより1,596億7千6百万円（前年度末比78億9千8百万円減）となりました。

負債合計は、借入金や支払手形及び買掛金の減少などにより757億2百万円（前年度末比91億6千9百万円減）となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定が減少する一方、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により839億7千4百万円（前年度末比12億7千万円増）となりました。なお、自己資本比率は前年度末の46.2%から3.0ポイント上昇して49.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回公表値（2019年5月10日公表）を修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,602	10,954
受取手形及び売掛金	37,761	30,472
商品及び製品	17,329	17,455
仕掛品	10,581	11,874
原材料及び貯蔵品	18,440	18,781
その他	3,583	2,912
貸倒引当金	△51	△51
流動資産合計	100,247	92,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,105	19,863
機械装置及び運搬具（純額）	7,396	7,248
工具、器具及び備品（純額）	2,038	1,943
土地	8,653	8,753
リース資産（純額）	530	521
建設仮勘定	2,425	2,074
有形固定資産合計	41,149	40,405
無形固定資産		
ソフトウェア	1,865	1,722
リース資産	63	55
その他	274	253
無形固定資産合計	2,203	2,030
投資その他の資産		
投資有価証券	15,393	15,462
出資金	239	795
長期貸付金	0	—
長期前払費用	180	193
退職給付に係る資産	6,687	6,907
繰延税金資産	981	977
その他	581	586
貸倒引当金	△90	△81
投資その他の資産合計	23,974	24,841
固定資産合計	67,327	67,276
資産合計	167,575	159,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,070	25,616
短期借入金	14,813	8,408
1年内返済予定の長期借入金	4,433	4,906
リース債務	190	183
未払法人税等	1,217	557
賞与引当金	2,376	1,416
役員賞与引当金	74	24
工事損失引当金	76	—
その他	7,327	6,373
流動負債合計	58,579	47,486
固定負債		
長期借入金	20,538	21,996
リース債務	354	331
繰延税金負債	1,637	1,936
役員退職慰労引当金	38	48
耐震工事関連費用引当金	719	714
製品安全対策引当金	29	51
退職給付に係る負債	1,764	1,923
資産除去債務	74	74
その他	1,135	1,139
固定負債合計	26,292	28,215
負債合計	84,871	75,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,009	10,016
利益剰余金	55,062	56,399
自己株式	△3,861	△3,858
株主資本合計	71,807	73,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,657	4,303
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,644	843
退職給付に係る調整累計額	248	242
その他の包括利益累計額合計	5,551	5,389
非支配株主持分	5,345	5,431
純資産合計	82,703	83,974
負債純資産合計	167,575	159,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	102,502	100,274
売上原価	70,677	69,166
売上総利益	31,824	31,108
販売費及び一般管理費	26,997	26,563
営業利益	4,827	4,544
営業外収益		
受取利息及び配当金	268	291
持分法による投資利益	75	132
その他	712	532
営業外収益合計	1,056	956
営業外費用		
支払利息	141	196
為替差損	31	52
売上割引	130	124
その他	397	243
営業外費用合計	700	618
経常利益	5,182	4,882
特別利益		
固定資産売却益	—	77
投資有価証券売却益	—	37
特別利益合計	—	115
特別損失		
投資有価証券売却損	—	34
製品事故対策費用	242	—
特別損失合計	242	34
税金等調整前四半期純利益	4,940	4,962
法人税等	1,595	1,409
四半期純利益	3,344	3,552
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△117	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,461	3,443

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,344	3,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,775	686
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	△401	△691
退職給付に係る調整額	△53	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△37
その他の包括利益合計	△2,235	△47
四半期包括利益	1,108	3,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,229	3,400
非支配株主に係る四半期包括利益	△120	104



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,299	32,769	25,285	102,353	148	102,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	24	—	26	—	26
計	44,301	32,793	25,285	102,379	148	102,528
セグメント利益	1,845	2,904	3,061	7,811	60	7,872

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,811
「その他」の区分の利益	60
セグメント間取引消去	0
全社費用 (注)	△3,045
四半期連結損益計算書の営業利益	4,827

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,404	31,877	20,843	100,125	149	100,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12	—	12	—	12
計	47,404	31,890	20,843	100,137	149	100,287
セグメント利益	3,405	2,582	1,998	7,987	45	8,032

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおり  
ます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,987
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△3,489
四半期連結損益計算書の営業利益	4,544

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。